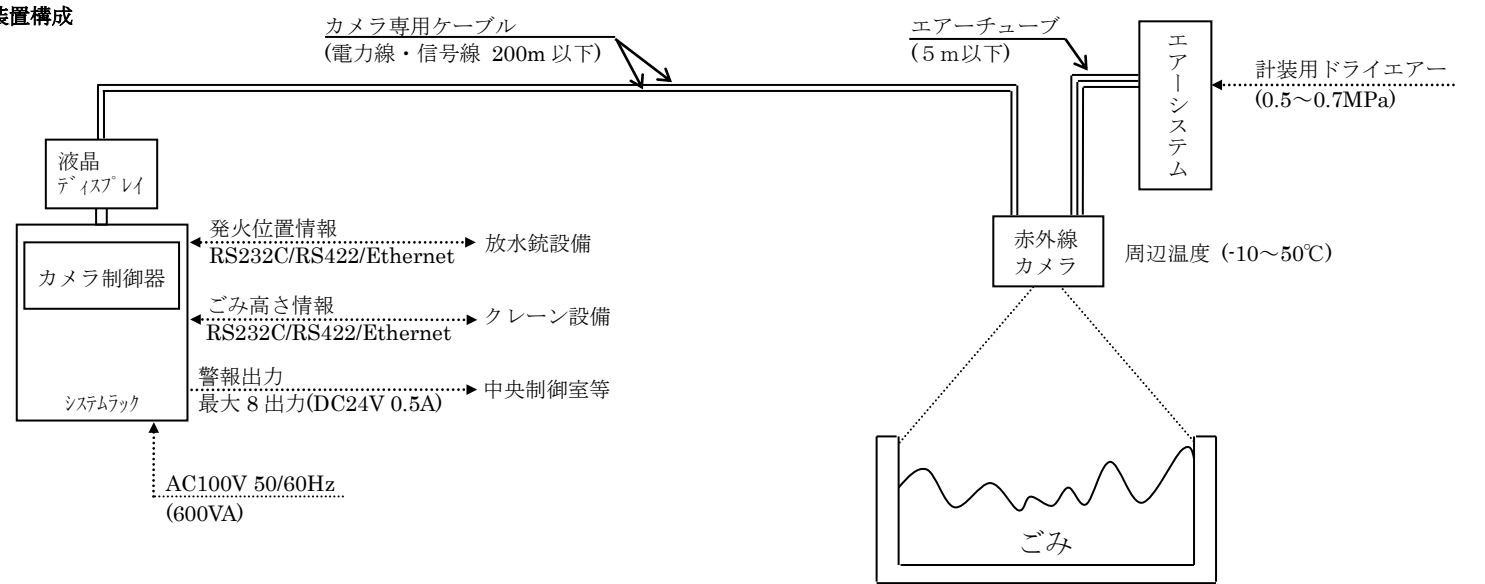


ごみピット発火監視装置 説明書

装置構成



[設備機器] 赤外線カメラ・カメラ制御器・液晶ディスプレイ・システムラック  
[付属品] カメラ専用ケーブル（電力線、信号線）・エアーシステム・エアーチューブ・ボール雲台付きカメラ保護ケース

装置仕様

|           |                                          |         |                                                             |
|-----------|------------------------------------------|---------|-------------------------------------------------------------|
| 検出方式      | 電子冷却式赤外線検出器によるごみ表面温度測定                   | ブロック分割数 | 長辺側 20 以下、 短辺 6 以下                                          |
| 検出波長      | 2 ～ 6 μ m                                | 計測温度範囲  | 100 ～ 255℃（赤外線カメラから 10m 離れて 10cm 角の面積に対する赤外線量を温度に換算します）     |
| 1 画素の検出面積 | 赤外線カメラから 10m 離れて約 10cm 角、50m 離れて約 50cm 角 | 最大監視角度  | 長辺側カメラ真下に対して片側 65°、左右合計 130°<br>短辺側カメラ真下に対して片側 55°、左右合計 80° |
| 通信回線      | RS-232C/RS422/Ethernet（クレーン設備、放水銃設備等用）   | 警報入出力   | 無電圧 a 接点(DC24V 0.5A) 最大 8 出力、最大 2 入力                        |

主な機能

警報出力機能 3 種類の警報出力機能があります。

- ① 発火検出警報：発火温度値（発火の判断基準値）以上の温度を検知時に出力します。（発火温度値設定範囲：100～250℃）
- ② 警戒上昇警報：前回のピット内 1 監視時に検知した温度と今回検知した温度をブロック単位で比較し、警戒上昇値（急激な温度上昇の判断基準値）以上の温度上昇を検知時に出力します。前回の検知温度が 100℃未満の場合は 99℃として処理します。（警戒上昇値設定範囲：0～100℃）
- ③ 装置異常警報：装置に異常が発生した場合に出力します。（例：検出性能劣化時、エアー圧力低下時、カメラ動作不良時など）

画面機能 4 種類の画面があります。

- ① 温度画面：通常の運用画面です。
- ② 高さ画面：現在システムで使用しているブロック毎のごみ高さを確認する画面です。
- ③ 詳細画面：検出データを画素単位で表示します。
- ④ 装置画面：各設定値、装置状態の確認画面です。